



- い ○いきいきとした心と体をつくる子 (体)
- ま ○学びをいかそうとする子 (知)
- じ ○自分とみんなを大切にする子 (徳)
- ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子 (公)
- く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子 (開)



## 「行事」の意義

校長

10月以降には緊急事態宣言が解除され学校生活が通常に近い形でできるだろうと考えて様々な「行事」を計画しています。学校では、なぜ「行事」を行うのでしょうか。

昨年度の臨時休業期間中に私は「学校は何のためにあるのだろうか?」「学校で何をするのがこれから生きていく上で必要な力になるのだろうか?」ということを考えていました。

学校は「学ぶ」場所ですが、「学ぶ」とは具体的にどのようなことなのでしょう。

「学ぶ」ということは、①自分の興味関心のあることに取り組み、個々がその楽しさを味わい、②時には仲間と協働して問題を解決して、その喜びを感じることです。

①は一人でできるかもしれませんが、しかしそれさえも、仲間と切磋琢磨したり、認め合ったりしなければ長続きしないでしょう。②は複数の方がいる所でなければできないことです。

「行事」はこの②を体験的に学習できる活動です。そして、学んだことを活かして取り組むことで、①に必要感を生み、さらに学習する意欲を高める効果をもたらします。



また、普段の教室とは違った環境で、仲間と関わり、楽しい体験を共有することで、友情が深まったり、互いのよさに気付いたりして、学校生活に潤いをもたらします。

何気ないことかもしれませんが、行事前日になかなか寝られなかったり、友達と他愛のないことで笑ったりしたことですら、人生のエネルギーになるのではないかと私は思っています。

そんな貴重な体験を今宿小学校の子どもたちみんなにしてほしい、そして、これから頑張ることができる人生のエネルギーを蓄えてほしいと願っています。

保護者の皆様には、行事を迎えるまでの体調管理や当日の送り出し、そして、楽しかったことに耳を傾け思い出を家族で共有していただければと思います。

## 新しい学習活動の形態

副校長

9月は分散登校となり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動が制限されています。しかし反面、タブレット端末を使った学習活動が多く見受けられ、子どもたちは夢中になって取り組んでいます。これはまさしく、新しい学習活動のスタンダードが生まれたのではと感じています。

一方で、新しい取組はインターネット依存や希薄な人間関係など、新たな課題を生む可能性もあります。しかし私は、新しい取組をやめるのではなく、課題を克服して新しい学習活動が定着することを期待しています。なぜなら新しい取組は、児童の新たな才能や可能性を引き出すものになると考えているからです。

従来の活動も新しい活動も「よさ」はたくさんあります。どちらか一方ではなく、それぞれの「よさ」を取り入れて、子どもたちの成長を支援していきたいと思っています。